



## 第25回ジャパンドラッグストアショーにおける広報活動



自衛隊東京地方協力本部港出張所（所長 神一陸尉）は8月9日及び10日、東京ビッグサイトで開催された「第25回ジャパンドラッグストアショー」へ参加し、広報活動を実施した。

当日は、第1普通科連隊及び第1後方支援連隊の支援を受け、軽装甲機動車の展示や衛生科隊員による応急処置体験・説明のほか、VR体験、制服試着を通じて自衛隊の仕事を身近に感じてもらうよう努めた。

本イベントは、2日間で約7万人を超える来場があり、会場は終始笑顔であふれ、こどもお仕事体験コーナー内に設置された自衛隊ブースを訪れた方からは「自衛隊は遠い存在だと思っていたが、今回のイベントで親しみを持つことができた」「自衛隊の活動に関心が持てた」、さらには主催者から「次回も是非参加をお願いしたい」との言葉をいただいた。

港出張所は、引き続き様々なイベント等に積極的に参加し、自衛隊の魅力を発信していくとともに、防衛省・自衛隊の理解促進を図り、人材の確保に取り組んでいく。

## 昭島モリタウンサマーコンサート 音楽に誘われて

自衛隊東京地方協力本部立川出張所（所長 星2陸尉）は8月23日、昭島モリタウン光の広場において、第1音楽隊の支援を受け、サマーコンサートと広報活動を実施した。

当日は、開店と同時に準備された座席に次々とビデオカメラを持った音楽隊ファンが座り、演奏時間が近づくと1階の会場は観客であふれ、吹き抜けの2階も今か今かと待つ人たちが埋め尽くされた。そのようななか、音楽隊が入場すると、会場は温かい拍手に包まれ、子供から大人まで楽しめる演目のため、演奏中は自然と手拍子が鳴り響き、なかには音楽に合わせて踊り出す子供もいるといった終始和やかなコンサートになった。そして、司会の隊員が、自衛隊音楽まつりの宣伝をすると「応募しました!」と、あちらこちらで声があがるほどの盛り上がりだった。

演奏後の音楽隊との写真撮影では「音楽隊の皆さん! サインください!」とノートとペンを差し出すファンの子供もいて、隊員たちは笑顔でリクエストに答えていた。また、手紙を持って来訪した子供もおり、「来年の自由研究は自衛隊にします」と元氣いっぱいの文字が書かれていた。

その他にも、缶バッジ作成体験や制服試着コーナーを設けたが、演奏の合間には列ができるほど盛況だった。用意した缶バッジの絵柄は、サマキヤン仕様になっており、複数ある絵柄のなかから好きなものを選び、広報官と一緒に「よいしょ!」と声を合わせてレバーを下げ完成した缶バッジを手にとると自慢げに見せてくれる様子や、制服試着コーナーでは、自衛官募集相談員の方々が撮影ポーズをレクチャーして、子供たちはポーズを決めるといった姿が見られた。

立川出張所は、今後も部隊と連携を取りながら、各種イベントを通じ、自衛隊の魅力発信とともに募集業務に邁進していく。

